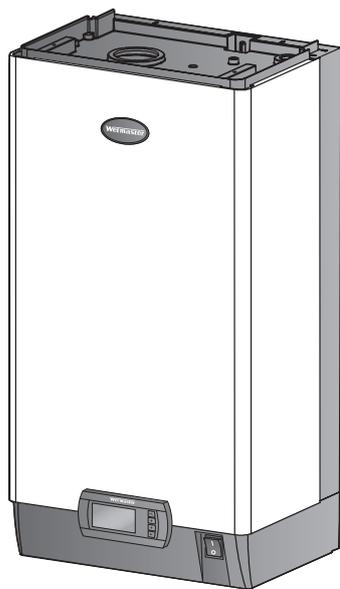


空調機・加湿チャンバ組込用  
電極式蒸気加湿器

## WM-SECタイプ

### 試運転作業要領書



SEC03/SEC05/SEC08/SEC10/SEC15/  
SEC25/SEC35/SEC45/SEC65

加湿器本体の標準仕様と室内直接噴霧型 (SEC-FA/FB)は  
構造、制御が異なるため、現地での変更・切り替えはできま  
せん。

- このたびはウェットマスター蒸気式加湿器をご採用いただき、まことにありがとうございます。
- この試運転作業要領書には加湿器の施工が完了した状態において、加湿器が正常に作動するかの試運転手順について記載しています。出荷時設定から変更が必要な場合は、施工要領書／設定要領書を参照の上、設定変更を行った上で試運転を実施してください。この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、作業の前に必ずお読みいただき、正しい作業を行ってください。
- 給水水質は、水道法水質基準に準ずる飲料水としてください。純水および軟水は使用できません。
- 本書の内容以外に関する説明は右記を参照し、該当するドキュメントをご確認ください。

#### もくじ

安全のために必ず守ること…………… P.1

#### 1 試運転

- 1-1 試運転準備…………… P.2
- 1-2 試運転手順…………… P.2
- 1-3 試運転後の作業…………… P.4
- 1-4 加湿器型番、シリアル番号、ロット番号表示位置…………… P.4
- 試運転チェックリスト…………… P.5

#### 2 予報・警報について

- 2-1 予報表示の原因と処置…………… P.6
- 2-2 警報表示の原因と処置…………… P.7
- 2-3 予報・警報表示処置後の作業と最終点検…………… P.8

#### 3 参考

- 3-1 操作パネル上の表示と機能…………… P.9
- 3-2 停電試験について…………… P.10
- 3-3 疑似警報発報手順とリセット方法…………… P.11

試運転

予報・警報について

参考

施工要領書／設定要領書	取扱説明書
加湿器本体の取付、給排水接続、電気配線（計装）など、加湿器の施工に関する説明および出荷時設定から変更を行う場合の手順についてを記載しています。	運転動作、運転管理、一般保守要領など、加湿器の取り扱いについてを記載しています。

# 安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重大な内容です。必ず守ってください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡、重症を負う可能性があるもの



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生に結びつくもの

- 図記号の意味は以下のとおりです。



必ず守る



絶対しない



触らない



濡手禁止

絶対に濡れた手で触らない



水濡禁止

絶対に水に濡らさない

## 警告



### 取付工事は、専門業者に依頼する

必ず守る

取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。



### 高所作業時の安全を確保する

必ず守る

高さが2メートル以上の箇所で行うときは、適正な足場を確保し安全帯を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。



### 活線作業を行う際は、絶縁用保護具を着用するか、活線作業用器具を使用する

必ず守る

適切な保護具、器具を使用しない場合、感電の原因になります。



電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および製品添付の説明書類に従って施工する  
電源回路要領不足や取付不備があると感電・火災の原因になります。

必ず守る



電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する

必ず守る

接続や固定が不完全な場合は、発煙、火災の原因になります。



### 加湿器元電源には、必ず加湿器専用の漏電ブレーカを取り付ける

必ず守る

漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になります。



### 工事部材は付属品および指定の部材を使用する

必ず守る

寸法や材質等の適合しない部材を使用すると、落下・水もれ・感電・火災などの原因になります。



### 作業時は、けが防止のため保護用手袋を着用する

必ず守る

やけど・けがの原因になります。



### 寿命となった蒸気シリンダは必ず交換する

必ず守る

蒸気シリンダは消耗品です。寿命に至ったまま継続して使用すると、発煙・発火などの事故の原因になります。



### 改造はしない

絶対しない

故障や水もれ・感電・火災の原因になります。



### 加湿器本体・操作パネルに水、液体をかけないこと

水濡禁止

ショート・漏電・感電・事故・発煙・火災の原因になります。



### 濡れた手で電気部品に触ったり、スイッチ・ボタンを操作しない

濡手禁止

感電・事故・発煙・火災の原因になります。



### 運転中および運転停止直後の加湿器・接続配管・電気部品に素手で触れない

触らない

やけど・感電の原因になります。

## 注意



### 水道法、消防法等に規制される部材の取り扱いについては、専門業者に依頼する

必ず守る

法令を遵守した施工が必要です。



### 加湿器給水に純水および軟水は使用しない

必ず守る

給水の水质は、水道法水质基準に準ずる飲料水とし、導電率は7.5～35.0mS/m (75～350 μS/cm) の範囲としてください。



### アース接続 (D 種接地工事) を行う

必ず守る

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

# 1 試運転

施工終了後は必ず試運転を行い、異常がないことを確認してください。

## 1-1 試運転準備

- 本加湿器の出荷時の設定状態は以下のとおりです。

設定項目	出荷時の設定状態
運転モード	比例制御
比例制御の入力信号	4-20mADC
通常表示される値	蒸気発生量
出力調整	100%

- 試運転前には下記の諸点を必ず確認し、不都合な点があれば施工要領書／設定要領書を参照し、必ず修正してください。

- 加湿器本体、蒸気ホース、蒸気噴霧管が正しく取り付けられていること
- 給排水配管が正しく施工されていること
- 給排水配管への保温材の取り付けが確実にされていること
- 配管各部の締め忘れ、締め不足などがないこと
- 電気および水が供給されていること
- 給水配管のフラッシングや、給水ストレーナの点検・清掃が行われていること
- 各電気配線が正しく確実に接続・固定されていること
- 入力信号が正しく接続・設定されていること
- 残水排水コックが「CLOSE」になっていること(残水排水コックの位置は P.3 図 -3 を参照してください)

- 試運転開始にあたっては下記の準備作業を行ってください。

- インタロックをとった空調機を運転する
  - 加湿器元電源の漏電ブレーカを ON にして電源を供給する
  - ヒューミディスタットの設定を最大にする
  - 給水サービス弁を開ける
- ※あらかじめ出力調整を行う場合は、右の QR コードより施工要領書／設定要領書をご参照ください。



施工要領書／設定要領書

## 1-2 試運転手順

- SEC タイプは運転動作として始動運転と定格運転の 2 種類があります。

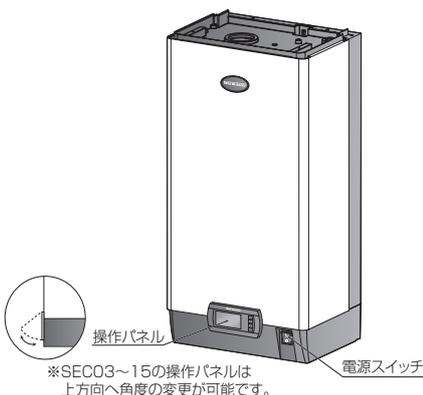
### 1-2-1 始動運転

①加湿器本体の電源スイッチを ON にしてください。電源スイッチの位置は本体正面右下にあります(図-1)。

図-1 電源スイッチと操作パネルの位置

#### ■ SEC03 ~ 15

※型番末尾に FA または FB が付く室内直接噴霧型も含まれます



#### ■ SEC25 ~ 65



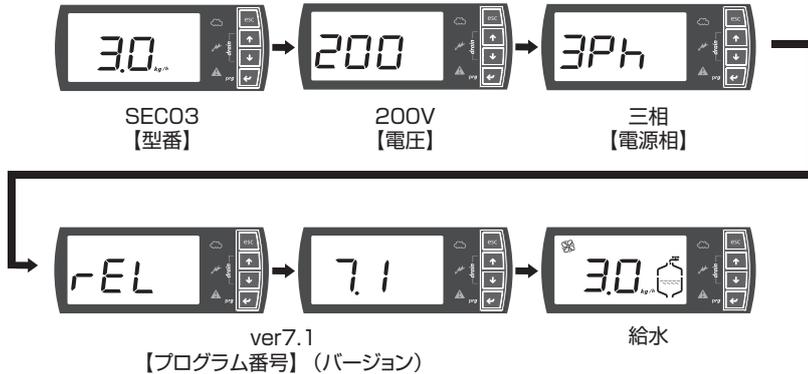
図-2 電源スイッチの詳細



電源スイッチを一度 OFF にした後、再度 ON にする際は 10 秒以上時間を置いてください。時間を置かずに再度電源を ON にすると異常信号を出力することがあります。

②操作パネルのすべての表示部が約2秒間点灯します。その後、型番⇒電圧⇒電源相⇒プログラム番号（バージョン）を表示した後に給水を開始します。

例)



※プログラム番号は機器により異なる場合があります。

③水位が満水センサ(図-3)に達すると給水を停止し、数秒間排水した後、蒸気の発生を開始します。

例)



④蒸気シリンダ内の水の濃度を検知しながら、加湿による水位低下と給水を繰り返します。

⑤電流が規定値に達するまでの間、上記④の動作を行った後、水位は安定します。

⑥所定の能力を発揮するまでの時間は、給水の導電率により異なります。**初期給水から水が濃縮するまで3時間以上かかることがあります、故障ではありません。**

※給水導電率が仕様の値よりも低く蒸気量が上がらない場合は、重曹を入れて導電率を上げる方法があります。詳細は右のQRコードからご覧いただけます。



始動運転中は、操作パネル上の以下表示が点滅します。

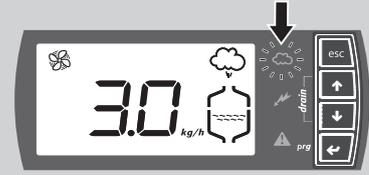
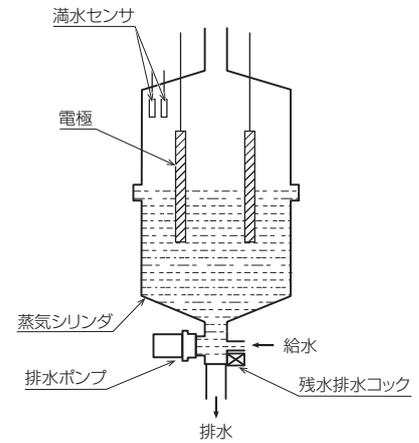


図-3 蒸気シリンダの内部



上記③～④の間、操作パネルに **EF** (EF、P.7「2-2 警報表示の原因と処置」参照) を表示する場合があります。この場合は、電源スイッチをOFFにし、10秒以上時間をおいて再度ONにしてください。時間を置かずして再度電源をONにすると異常信号を出力することがあります。

### 1-2-2 定格運転

- 運転電流値が目標電流値(表-1)に達すると定格運転に入ります。定格運転に入ると水質管理のために、定時排水が行われます。排水間隔および排水時間は給水の導電率により異なりますが、約2～5分間隔で2～10秒程度の排水を行います。
- 運転はすべてマイクロプロセッサによりコントロールされ、完全自動運転となります。

定格運転中は、操作パネル上の以下表示が点灯します。

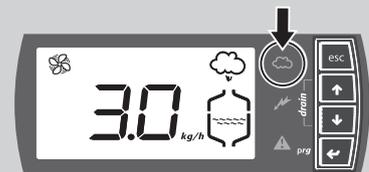


表-1 目標電流値(入力信号100%、出力調整100%の場合)

SEC03	SEC05	SEC08	SEC10	SEC15	SEC25	SEC35	SEC45	SEC65
6.5A	10.8A	17.3A	21.7A	32.5A	54.1A	75.8A	97.4A	140.7A

### 1-2-3 試運転中の確認事項



警告

運転中および運転停止直後の加湿器本体、蒸気ホース、噴霧管、排水配管には絶対に触れない

● やけどの原因になります。

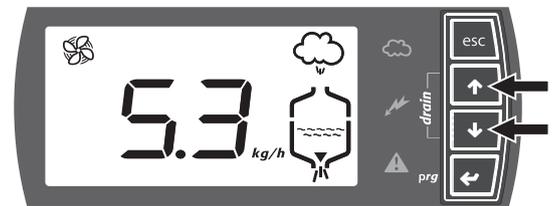
● 下記の諸点を確認してください。問題のないことが確認できたら、試運転は終了となります。

- 蒸気ホース接続部からの蒸気もれ、ドレンもれがないこと
- 給排水配管からの水もれがないこと
- 空調機内外や空調機吹出口での蒸気の再凝縮が問題にならないこと
- ヒューミディスタットの信号に運転が追従すること
- 空調機が停止した際に加湿器も連動して停止すること

### 1-3 試運転後の作業

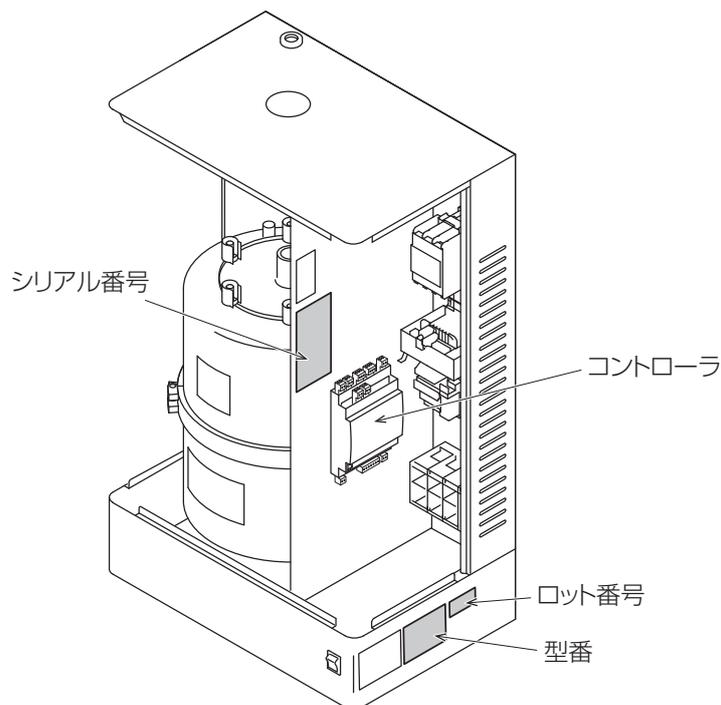
● 試運転終了後は下記の作業を行ってください。

- 蒸気シリンダの水を排水する  
〔操作パネル(右図)の  ボタンと  ボタンを同時に約2秒長押しすると排水が開始され、その後は自動で排水を続けます。なお、1週間以内に加湿器を運転される場合は排水は不要です。〕
- 加湿器本体の電源スイッチを OFF にする
- インタロックをとった空調機を停止する
- 給水サービス弁を閉める
- ヒューミディスタットの設定を希望湿度に合わせる
- 加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にする



### 1-4 加湿器型番、シリアル番号、ロット番号表示位置

図-4



# SECタイプ 試運転チェックリスト

対象機器：電極式蒸気加湿器 WM-SEC03 ～ SEC65、WM-SEC03FA/FB ～ 15FA/FB

作業年月日： \_\_\_\_\_

作業会社名： \_\_\_\_\_

物件名： \_\_\_\_\_

作業担当名： \_\_\_\_\_

**Wermaster** ( / )

- SECタイプの施工後の試運転確認を下記の項目で実施いたしました。
- 機器単体の正常動作を確認するもので、能力検証を行うものではありません。

実施項目	確認事項	備考	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	
① 設置位置	設置位置の記録	階数、東西南北、部屋名、系統など						
② 加湿器型番	SEC03 ～ SEC65、 SEC03FA/FB ～ 15FA/FB	該当する加湿器型番を記入 加湿器本体横のシールで確認できます						
③ Lot. No.	ロット番号の記録	加湿器本体横のシールで確認できます						
④ シリアル番号	シリアル番号の記録	加湿器本体内部のシールで確認できます						
	実施項目	作業箇所	判定事項	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5
①	加湿器本体設置確認	加湿器本体	加湿器本体が適切に設置されていること					
②	蒸気ホース設置確認	蒸気ホース	蒸気ホースが適切に設置されていること					
③	排水ホース設置確認	排水ホース	排水ホースが適切に設置されていること					
④	蒸気噴霧管設置確認	蒸気噴霧管	蒸気噴霧管が適切に設置されていること					
⑤	給水配管のフラッシング	現場給水配管・フラッシングバルブ	フラッシングが実施され、供給水に汚濁・臭気が無いこと					
⑥	制御信号と設定の確認	操作パネル・信号用電線	制御信号とパラメータの設定が合っていること					
⑦	インタロック機器との連動確認	インタロックを取っている機器	インタロックを取っている機器を発生させて連動が取れていること					
⑧	運転信号出力確認	-	インタロック接点と加湿信号入力接点が入力されている時、運転信号が出力されていること					
⑨	入力信号の確認	操作パネル	通常運転中に <b>▶</b> ボタンを1回押し、加湿制御ができていないこと					
⑩	異常信号取り出し確認	入力信号のコネクタ	加湿入力信号が「E-10V」または「4-20mA」の場合： 入力信号のコネクタを外すと、約30秒後にE3が点灯すること 加湿入力信号が「ON-OFF」または「0-10V」・「0-20mA」の場合： 入力信号のコネクタと滴水センサーコード接続ピンを外し、両端がフニ 口等で短絡させると、EUが点灯すること					
⑪	蒸気もれ、ドレンもれがないことを確認	蒸気ホース接続部	蒸気ホース接続部からの蒸気もれ、ドレンもれがないこと					
⑫	蒸気の再凝縮がないことを確認	空調機内外・空調機吹出口	空調機内外や空調機吹出口での蒸気の再凝縮が問題にならないこと					
⑬	水もれがないことを確認	加湿器本体・給排水配管	30分間運転を継続し、加湿器本体内部および配管各部から水もれの無いこと					

備考 【作業後の状態】 電源スイッチ： ON・OFF 給水バルブ： 開・閉 漏電ブレーカ： ON・OFF ヒューミディスタット設定： %RH

- ✓：実施
- ×：未実施
- ：該当無し

## 2 予報・警報について

加湿器が何らかの異常を検知すると、操作パネルの数字表示部に、予報コードまたは警報コードと入力／制御信号、蒸気発生量、運転時間カウンター、導電率、電流値の何れかが交互に表示されます（P.10 参照）。

予報コード・警報コードはアルファベットや数字などを組み合わせた2桁の表示です（「2-1 予報表示の原因と処置」、P.7「2-2 警報表示の原因と処置」参照）。

異常の内容によりコード表示後の動作は異なり、予報の場合は「運転を継続」、警報の場合は「運転を停止」します。運転を停止した場合は警報コードを確認した上で、加湿器の電源を OFF にしてください。

### 2-1 予報表示の原因と処置

- 操作パネルの数字表示部に予報コードが表示されても、加湿器の運転は継続されます。

予報コード	内容	異常信号外部出力	原因	処置	リセット <sup>*1</sup>
<b>RF</b> (AF)	フォーミング（泡立ち）除去	×	蒸気シリンダ内に給水配管中の油分等が混入	蒸気シリンダ内の洗浄を自動的に行うため、処置は不要 解消しない場合は <b>ER</b> が表示される	自動
<b>ER</b> (EA)	フォーミング（泡立ち）発生	○		自動的に給排水されるため、しばらく様子を見る 解消しない場合は全排水を行い、蒸気シリンダ内の水を入れ替え <sup>*3</sup> 、給水配管のフラッシングを行う	可
<b>EC</b> (EC)	高導電率	×	供給水の導電率が高い	全排水を行い、蒸気シリンダ内の水を入れ替える <sup>*3</sup> (再度運転しても解消しない場合は、弊社宛サービスを依頼してください)	自動
			基板故障	 弊社宛サービスを依頼してください	
<b>E2</b> (E2)	アワーメータエラー	×	アワーメータの故障	 弊社宛サービスを依頼してください	不可
<b>CY</b> (Cy)	蒸気シリンダ交換時期	○	蒸気シリンダの寿命に近づいた	蒸気シリンダ交換の手配／準備	不可 <sup>*2</sup>

※ 1：リセットが可能な場合は、 ボタンを押すことで予報コードの表示と異常信号外部出力が解除できます。

※ 2：外部出力している異常信号のみ解除可能です。操作方法は別冊の取扱説明書をご参照ください。

※ 3：排水完了後は、一定時間経過すると自動で給水を開始します。

## 2-2 警報表示の原因と処置

- 加湿器の運転を停止し、操作パネルの数字表示部に警報コードを表示します。

警報コード	内容	異常信号外部出力	原因	処置	リセット <sup>*1</sup>
<b>EH</b> (EH)	電流過多	○	スケール堆積による排水不良	蒸気シリンダ交換	可
			排水ポンプ不起動	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			給水用電磁弁のリーク	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			電流トランスの故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
<b>EP</b> (EP)	蒸気発生量不足	○	給水導電率が低い	給水の導電率を使用条件内であることを確認する	可
			電源リレー故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			基板故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			電流トランス故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			フォーミングの発生	蒸気シリンダ内の排水	
基板・操作パネルコネクタの接触不良	基板・コネクタに接触不良が無いか確認				
<b>EF</b> (EF)	給水不足	○	断水	加湿器への給水の確認	自動 <sup>*2</sup>
			給水用電磁弁の不起動	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			給水用電磁弁の劣化	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			蒸気噴霧管からの蒸気噴霧不良	噴霧管位置静圧の確認 蒸気ホース取り付け状態の確認	
			残水排水コックの閉め忘れ	残水排水コックを閉める	
			電源リレー故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			給水圧力不足・流量不足	給水圧力・流量の確認 (1次側給水ストレーナの汚れ確認)	
			給水導電率が低い	給水の導電率を使用条件内であることを確認する	
<b>Ed</b> (Ed)	排水不良	○	排水できない	排水配管の確認 ☎ 排水ポンプ不起動のため、弊社宛サービスを依頼してください	可
<b>EO</b> (EO)	メモリーエラー	○	基板故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	不可 <sup>*3</sup>
<b>E1</b> (E1)	パラメータエラー	○	加湿信号配線の不良	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	不可 <sup>*3</sup>
			入力信号の不良		
<b>E3</b> (E3)	制御信号異常	○	制御信号配線の不良	制御信号配線の確認	自動
			入力信号と、設定の不一致	入力信号の確認 (施工要領書/設定要領書を参照)	
			基板故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			基板・操作パネルコネクタの接触不良	基板・コネクタに接触不良が無いか確認	
<b>EU</b> (EU)	満水検知 (運転停止中)	○	給水用電磁弁のリーク	全排水を行い、蒸気シリンダ内の水を入れ替える <sup>*4</sup> (再度運転しても解消しない場合は、弊社宛サービスを依頼してください)	自動
			蒸気ホースからの凝縮水の逆流	蒸気ホース取り付け状態の確認	
			基板故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	
			操作パネル故障		
<b>Nn</b> (Nn)	蒸気シリンダ寿命	○	蒸気シリンダの寿命	蒸気シリンダ交換	交換作業後に可
<b>EC</b> (EC)	高導電率	○	供給水の導電率が高い	全排水を行った後、 <b>esc</b> ボタンを押してリセットする (再度運転しても解消しない場合は、弊社宛サービスを依頼してください)	可
			基板故障	☎ 弊社宛サービスを依頼してください	

※ 1：リセットが可能な場合は、**esc** ボタンを押すことで警報コードの表示と異常信号外部出力が解除できます。

※ 2：試運転時や設置後はじめての運転時および蒸気シリンダ交換時に **EF** を表示した場合は、電源スイッチを OFF にし、10 秒以上時間を置いてから再度 ON にしてください。

※ 3：**esc** ボタンによるリセットが不可の警報コードは、電源スイッチを OFF にし 10 秒以上の時間を置いた後、再度 ON にすることでリセット可能です。警報原因を解決のうえ実施してください。

※ 4：排水完了後は、一定時間経過すると自動で給水を開始します。

予報・警報の詳細情報として、「エラーコード / 対処一覧表」を弊社 Web サイトで公開しています。  
(<https://www.wetmaster.co.jp/maintenance/errorcode>)



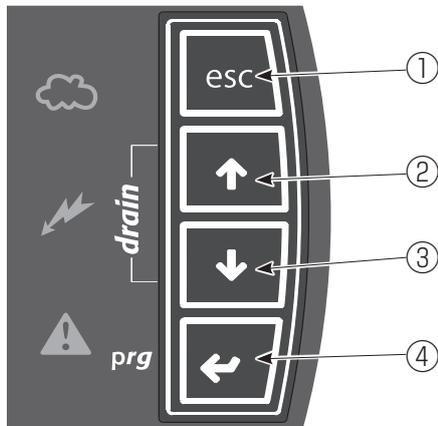
## 2-3 予報・警報表示処置後の作業と最終点検

- 処置が終わったら必ず運転確認を行い、正常な動作および配管各部からの水もれのないことを確認してください。
- 不都合な点があれば必ず修正し、なおも正常な動作を行わない場合は弊社宛お問い合わせください。

# 3 参考

## 3-1 操作パネル上の表示と機能

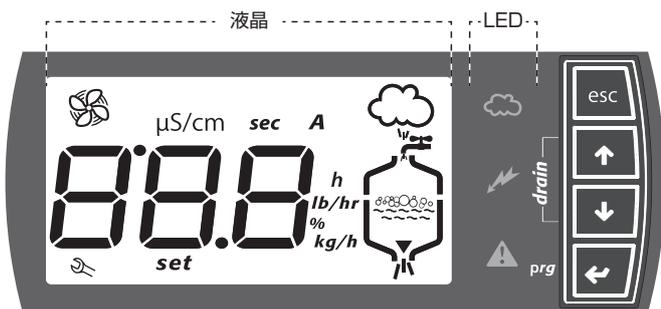
図-5 ボタン部詳細



- ① **esc** (エスケープ) ボタン：出力調整の開始や終了、入力信号を設定する時などに使用します。
- ② **↑** UP (アップ) ボタン：数字を大きくする時に使用します。押し続けると早送りになります。
- ③ **↓** DOWN (ダウン) ボタン：数字を小さくする時に使用します。押し続けると早送りになります。
- ④ **←** prg (プログラム) ボタン：主に、運転制御に必要な設定の選択および設定を確定する時に使用します。

※①のボタンは長押ししないでください。長押しすると **t--** (t--) と表示され、加湿器の運転、操作に支障をきたします。もし **t--** が表示された場合は、もう一度①のボタンを長押しすることで解除が可能です。  
 ※②と③のボタンを同時に約2秒長押しすると、蒸気シリンダ内の水を排水します。

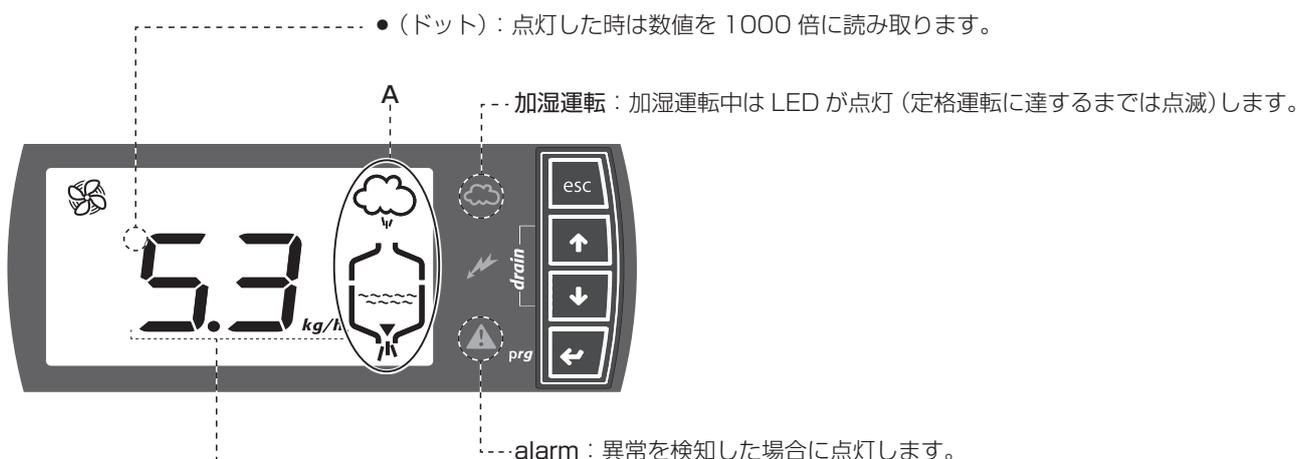
図-6 操作パネルの表示と内容



表示	内容
μS/cm	給水導電率 (マイクロゼンズ / センチメートル)
sec	時間 (秒)
A	電流値 (アンペア)
h	アワーメータ (時間)
lb/hr	蒸気発生量 (バレル / 時間)
%	出力調整値 (パーセンテージ)
kg/h	蒸気発生量 (キログラム / 時間)

表示	内容	
<i>drain</i>	手動排水時に使用するボタンを指しており、 <b>↑</b> ボタンと <b>↓</b> ボタンを同時に約2秒長押しすると排水が開始されます。 途中で排水を止めたい場合は、もう一度 <b>↑</b> ボタンと <b>↓</b> ボタンを同時に約2秒長押ししてください。	
LED		電源供給時に点灯します。
		①加湿運転中に点灯します。 通常点灯時：定格運転 点滅時：始動運転 ②蒸気シリンダ内の水の排水時に点滅します。
		異常を検知した場合に点灯します。 予報・警報が発報された場合は点滅します。 一部の予報・警報は <b>esc</b> ボタンを押すことでリセットが可能です。
液晶	<b>set</b>	機能設定中に点灯します。
		①メンテナンスが必要な時に点灯します。 ②警報履歴が画面に表示されているときに点灯します。
		運転信号を出力中に点灯します。
<b>888</b>	数字表示部	

図-7 通常運転中の表示例

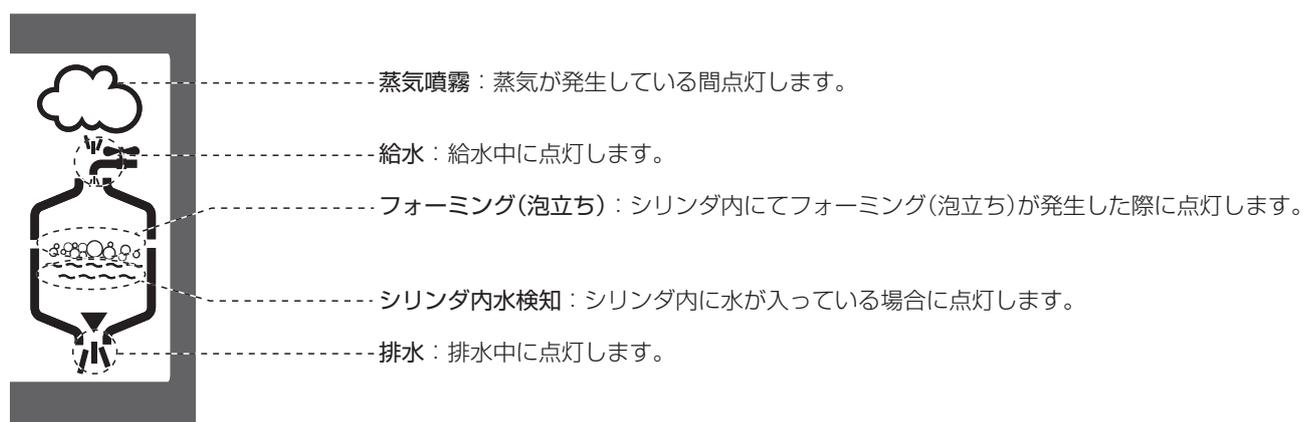


入力／制御信号、蒸気発生量、運転時間カウンター、導電率、電流値の何れかを表示します (表示項目の選択設定は別冊の施工要領書／設定要領書を参照)。

この例では蒸気発生量を表しています。

また、異常を検知した時、予報／警報コード(P.6 参照)を表示します。

■ A 部詳細



## 3-2 停電試験について



**注意**

**加湿器の停電試験を行う際は、必ず給水サービス弁を閉める**

❗ 万一、給水電磁弁が故障している場合、通水状態で電源を遮断すると排水電磁弁が作動せず、漏水事故の原因になります。

- 加湿器には停電時の運転自己保持機能はありません。運転中に停電が発生した場合は運転が止まり、復電時に運転を再開します。
- 万一、給水遮断弁が故障などにより止水できなかつた場合、停電試験により排水電磁弁が開かず漏水に至る可能性があります。停電試験を行う際は、あらかじめ給水サービス弁を閉め、加湿器への給水を停止して下さい。

### 3-3 疑似警報発報手順とリセット方法



**警告**

作業時は、けが防止のため保護用手袋を着用する

⚠ やけど・けがの原因になります。

- 加湿入力信号が「2-10V」または「4-20mA」の場合と、「ON-OFF」または「0-10V」・「0-20mA」の場合で手順が変わります。下記を参照してください。

#### 加湿入力信号が「2-10V」または「4-20mA」の場合

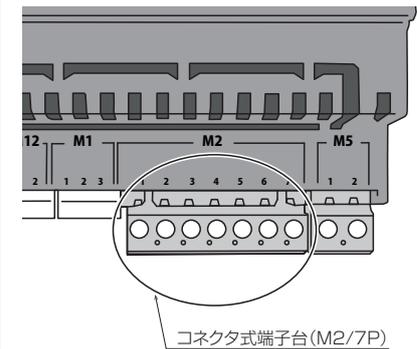
##### E3 警報 (制御信号異常)を発報させて確認する方法

- ① 加湿器本体の電源スイッチを OFF にする。
- ② コントローラのコネクタ式端子台 (M2/7P)を外す (図 -8)。
- ③ 加湿器本体の電源スイッチを ON にする。
- ④ 表示部に **[ -- ]**・**[ 0.0 ]**・**[ E3 ]** が表示され、約 30 秒後に異常信号が出力される。

##### E3 警報 (制御信号異常)を解除する方法

- ① 加湿器本体の電源スイッチを OFF にする。
- ② コントローラのコネクタ式端子台 (M2/7P)を取り付ける (図 -8)。
- ③ 加湿器本体の電源スイッチを ON にする (制御信号が来ていれば運転開始し、来ていなければ待機状態となる)。
- ④ 表示部にある **↑** または **↓** ボタンを押し **H 15** を表示させる。
- ⑤ **←** ボタンを押し **E3** が表示されたら **↑** **↓** ボタンを同時に **RES** が表示されるまで長押しし、**--** が表示後に **ESC** ボタンを押し初期表示に戻す。

図 -8 コネクタ式端子台 (M2/7P)位置



※コントローラの位置は P4 図 -4 を参照

#### 加湿入力信号が「ON-OFF」または「0-10V」・「0-20mA」の場合

##### EU 警報 (満水検知：運転停止中)を発報させて確認する方法

- ① 加湿器本体の電源スイッチを OFF にする。
- ② 蒸気シリンダ上部に接続している満水センサコード接続ピン (赤色 2 本) を外し、両端をワニ口 (みのむし)クリップ等で短絡させる (図 -9)。
- ③ 加湿器本体の電源スイッチを ON にする。
- ④ 表示部に **[ -- ]**・**[ 0.0 ]**・**[ EU ]** が表示され、異常信号が出力される。

##### EU 警報 (満水検知：運転停止中)を解除する方法

- ① 加湿器本体の電源スイッチを OFF にする。
- ② 満水センサコード接続ピン (赤色 2 本) 両端の短絡線を外し、満水センサコード接続ピン (赤色 2 本)を蒸気シリンダ上部に接続する (図 -9)。
- ③ 加湿器本体の電源スイッチを ON にする (制御信号が来ていれば運転開始し、来ていなければ待機状態となる)。
- ④ 表示部にある **↑** または **↓** ボタンを押し **H 15** を表示させる。
- ⑤ **←** ボタンを押し **EU** が表示されたら **↑** **↓** ボタンを同時に **RES** が表示されるまで長押しし、**--** が表示後に **ESC** ボタンを押し初期表示に戻す。

図 -9 満水センサコード接続ピン位置

